

# コブナシコブスジコガネ

コウチュウ目コガネムシ科

石川県カテゴリー

準絶滅危惧

*Trox nohirai* Nakane

国カテゴリー

なし

## 選定理由

最近になり、本種の発生場所として、フクロウ類営巣後の樹洞が大きな役割を果たしていることが報告されたが、樹洞ができるような大木は各種開発による伐採で減少傾向にあり、それに伴って本種の減少が懸念される。

## 形態

体長5.5~7.2mm。本属に特徴的な体表面のコブや毛塊を欠く。

## 国内分布

北海道、本州、四国、九州、対馬に分布する。

## 県内分布

最近、白山麓での観察事例が報告されたほか、釈迦林道における記録が1例知られている。いずれも白山麓周辺でのみ確認されている。

## 生態

成虫は5月頃から9月頃まで見られる。従来より樹洞内のフレーク状になった腐植堆積物に発生することが知られていたが、その後の調査で樹洞内に残されたフクロウのペリットや動物死体を食餌のひとつとしていることが確認された。また、フクロウの営巣後間もない樹洞よりも、営巣から数年が経過した樹洞を好むようで、条件がよければ100個体を超える個体が見いだされることもある。

## 生息地の条件

フクロウ類が営巣できるような大木と、フクロウ類の繁殖が可能となる自然の豊かな森林があること。

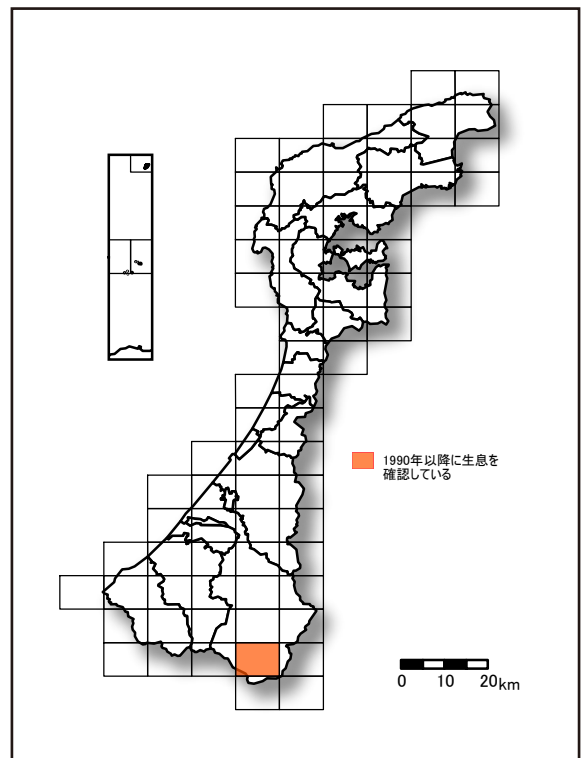
## 生存の危機

開発によりフクロウ類の営巣できるような大木や自然が消失することは、それに依存している本種の生息にも大きな影響を与える。

## 参考文献

稲垣政志・稲垣信吾 2007. コブナシコブスジコガネ *Trox nohirai* Nakane の生態について. 鯉角通信, (15) : 7-10.

写真(図)はありません。



県内の分布